

from

令和7年12月発行

# ほうかつ

特集！

## 権利擁護ってな～に？



檜葉町地域包括支援センターが担う業務の一つに権利擁護事業がありますが、この「権利擁護」という言葉に難しさを感じる方が多く、住民のみなさんへの普及・啓発には工夫が必要だと思い、今回は可能な限り、かみ砕いてお伝えしたいと思います。

そもそも「権利」とは…

『**誰にとっても、当たり前のこととして守られるべきもの**』です。

命が守られる

教育を受けられる

財産が守られる

大切にされる

やりたい活動ができる

治療を受けられる

知られたくない秘密が  
守られる

自分の考えや意見  
が言える

そもそも「擁護」とは…『**かばい、助け、守ること**』です。

つまり… **自分の力で自分の権利を守ることが難しくなっている方に対して  
権利擁護＝当たり前を守られるべきものを助け、守ること**です。

### 高齢者や障がい者の権利が守られてない例

- 必要なサービスを家族が受けさせてくれない
- 通帳管理している家族が勝手にお金を使ってしまう
- 訪問販売で買ったものを返品させてもらえない
- 自宅がゴミ屋敷になっている
- 自分のやりたいことをやらせてもらえない など



檜葉町地域包括支援センターでは、『権利擁護業務』として、**高齢者や障がい者の方々を含めた町民の方々が地域において尊厳ある生活を維持し、安心して日常生活を送ることができるよう、支援**しています。

どうですか？すこし、権利擁護が身近な存在に感じていただけましたか？

## 檜葉町の権利擁護ピックアップメモ

### 「檜葉町に法人後見事業があるのをご存知ですか？」

檜葉町社会福祉協議会では、令和4年度より法人後見事業を実施しています。「法人後見」とは、成年後見制度を法人(社会福祉法人など)が行うもので、法人が成年後見人等となり、**判断能力が不十分な方の権利を守り、本人の財産管理などの支援を行う**ことをいいます。

法人後見事業は、**その人らしい安心した日常生活を支えるための公的な事業**です。

### 法人後見事業の主な内容



#### 財産管理

本人の財産を適切に管理します。  
現金・預貯金の管理、収入支出の管理、不動産の管理、遺産相続、各種行政上の手続き、本人に不利益な契約の取り消しなど



#### 身上保護

本人の身の上に関わる手続きを行います。  
医療・介護サービスに関する契約、施設入所の契約など

檜葉町社会福祉協議会では、家族・親族や専門職(弁護士、司法書士、社会福祉士など)の**後見人等のなり手がいない方に対し、家庭裁判所の審判を経て、後見業務を担**います。

社会福祉協議会が法人後見に取り組む意義として、

- ・個人では対応が難しい事例への対応
  - ・長期受任が想定される若年の障がい者等を組織的に支援すること
  - ・日常生活自立支援事業利用者に継続的に関わること
  - ・法人後見支援員として住民に参画してもらい地域づくりにつなげること
- などがあげられています。



檜葉町地域包括支援センターでは、「**高齢になりさまざまな社会生活上の困難を抱えても、地域で自分らしく安心して生活を送れる**」ように、権利侵害されやすい高齢者の人権や権利を理解して介入の法的根拠や消費者被害、成年後見制度等といった法制度の枠組みを踏まえた相談対応を行っていきます。檜葉町役場や権利擁護支援センター等の権利擁護に係る関係機関との連携を密に、**権利擁護に関する相談対応や制度等の周知活動、消費者被害の普及・啓発活動(出前講座等)**を行い、**地域で権利擁護についての理解や成年後見制度の活用促進等を進めてまいります。**



### 高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽に  
ご相談ください。





出前講座  
開催！

## きっかけは行政区長の声！

～薬剤師×保健師×社協職員の専門職連携型出前講座が実現!!～

とある日・・・行政区長からご相談をいただきました

相談



行政区長さん

米作りや畑仕事で腰痛に悩んでいる人が多いから、腰痛対策の健康講話をしてもらえないかな・・・？



薬って、自分の体調に合わせて飲むのをやめたり数を減らしたりしても大丈夫・・・？



そこで！地域包括支援センターからは薬局薬剤師&町保健師に相談

ぜひ参加します！

ならは薬局  
薬剤師

町保健師

地域包括  
支援センター

薬剤師さん、保健師さんに相談したところ「ぜひ一緒に！」と快諾いただき、講座の準備も順調に進みました。

～出前講座当日～

①防災講話～日頃のつながりが地域の防災力になる～

最初に、地域の防災士2名による防災講話が行われ、地域の防災のポイントについて説明がありました。

- 集会所周辺が土砂災害危険箇所、警戒区域に指定されている場合は、集会所ではなく町が指定する場所へ避難しましょう
- ペットを飼っている家族も避難所の利用控えをせず避難しましょう
- 普段から地域の皆さんと避難方法を話し合っておくことが大切です

参加者からは「避難経路の確認を普段からしておいた方がいいね」「自力避難が難しい世帯をあらかじめ区長に伝えておくのはどうか」等の活発な意見が出されました。

日頃のつながりが  
地域の防災力に！

②健康講話～腰痛を予防するポイントの紹介～

次に、町保健福祉課の藤田保健師と、地域包括支援センターの馬上看護師による腰痛予防の講話が行われました。

- おへそに力を込めて(腹筋を使って)立ち上がると腰痛予防に♪
- 気持ちと痛みには関係性があり、ひとり家に閉じこもっている時ほど身体の痛みを何倍も強く感じるため、外出したり、地域の集まりで交流して気分転換しましょう♪

その後、社協職員の掛け声のもと自宅でできる腰痛予防ストレッチを行い、全員で楽しく身体を動かしました。

正しい姿勢で腰痛予防！

③おくすり講話～おくすり手帳ってこんな時に使えます～

ならは薬局の飯塚薬剤師からは、おくすり手帳の活用方法や、薬の服用方法、薬剤師の上手な活用に関する講話が行われました。

- おくすり手帳を普段から持ち歩くことが大切です
- 災害時に薬を持参してなくてもおくすり手帳があれば処方が可能(手帳がない場合は処方箋を写真に保存しておくだけでも役立ちます)
- 薬は飲み忘れや自己判断で中止していると効果が分からなくなるため、医師に正直に相談しましょう

講話の後には服薬に関する質疑応答が行われ、皆さんの健康意識の高さが伺えました。

薬に関する熱心な  
質疑応答の様子

行政区長さんや参加者の皆さんからは「腰痛予防や薬について詳しく学べて良かった！」「また地域で出前講座を開催してほしい」「近所に誰が住んでいるのか、昔ほど分からなくなってしまうけど、今回のように区長の呼びかけで顔を合わせると、次にどこかで会った時お互い声を掛けやすくなるね」等の感想をいただきました。地域包括支援センターにとっても、住民の皆さんと一緒に健康づくりを行う重要性を実感する機会となりました。今後も皆さんの声を大切に、ご要望に合った出前講座を開催していきます！

## 檜葉町地域包括ケアシステム

## まじわる つながる 支え合う リレー

第17走者

檜葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。マミーすいとん研究会から一般財団法人檜葉町振興公社にバトンが繋がりました。



一般財団法人檜葉町振興公社



一般財団法人  
檜葉町振興公社の皆さん

檜葉町振興公社は、地域の振興を目的として平成5年に設立されました。サイクリングターミナル、日帰り温泉施設しおかぜ荘、道の駅ならは、特産品開発センターの管理業務をはじめ、イベントでのマミーすいとんのふるまい、県内外での特産品販売、学校給食や岩沢海水浴場の運営等、多岐にわたる事業に取り組んでいます。

檜葉町振興公社が担っている主な事業

サイクリングターミナル

- 宿泊
- レストラン岬
- ウィンディーランド
- 天神岬スポーツ公園の管理

しおかぜ荘

- 温泉
- しおかぜ食堂
- テナント(マッサージ、ネイルサロン)

道の駅ならは

- 温泉
- フードコート
- ウィンディーランド
- 物産館
- テナント(マッサージ)

特産品開発センター

- 6次化商品の製造(ゆず、さつまいも製品)
- 2023年4月開設

林さんに  
インタビュー



檜葉町振興公社 事務局  
たくみ  
林 拓宙さん

檜葉町振興公社と地域とのつながり

檜葉町振興公社では、約90名の職員が各事業に従事しております。地域の皆さんには温泉、レストラン、宿泊等でご利用いただいております。気さくに声を掛けていただくことも多く、地域の声を直接聞くことのできる仕事だと感じています。道の駅では地元野菜や地域活動団体による手芸作品等を出品いただいております。これからも地域の声を大切に、町のためにつながる事業を行っていききたいと思います。

これからの展望～地域活性化への取り組み～

郷土料理のふるまいや特産品の販売を通して檜葉町の魅力を発信していきたいと思っています。マミーすいとん研究会の皆さんと連携して各イベントでのふるまいを行ったり、檜葉町産のゆず、さつまいもを使った6次化商品(ゆずポン酢、ゆずドレッシング、干し芋等)の販売や開発を通して、より多くの皆さんに檜葉町の良さを知っていただきたいです。また、天神岬スポーツ公園、岩沢海水浴場の利用やイベント開催等を通して、町外からの交流人口や移住者が増えることも視野に地域の活性化に取り組んでいきたいと思っています。

～みんなのつぶやき～ 漢字一文字で今年をふりかえります！

センター長 江尻



励

女性初！総理大臣の誕生は大きな励みです。これからも頑張れます。

生活支援コーディネーター 小林



会

今年も地域の方にたくさんお会いできた一年でした！笑いもたくさんあったな～。

社会福祉士 岡崎



健

今年は体調の波がある年でした。健康管理をしっかりと元気に頑張ります！

看護師 馬ト



塞

今年は八方塞。たしかに色々あったな～。来年はパーっと明るく開かれたキラキラした年にしたいです。